

10/13 いきいきライフフェスティバル開催

いきいきライフフェスティバル2018が10月13日、中央公民館で開催されました。認知予防レクリエーションや食改さんによる手作りメニューの試食コーナーなど多くの来場者でにぎわいました。講演の部では、北見赤十字病院の福島恵美子看護係長が、認知症予防法などについて講演。また、町内の戸田幸男さんと細川カツエさんが、地域の人が集う場づくりの活動状況を報告しました。



10/25 ぽっぽ絵画館7周年記念事業開く

NPO法人置戸ぽっぽ絵画館主催の開館7周年特別事業「青空活歩さんが漫談を語る」が、10月25日、コミュニティーホールぽっぽで開かれました。東京の画廊宮坂の宮坂祐次さんは「2月に町から社会貢献表彰をいただき、これまでの活動を認められたことがとても嬉しい」とあいさつ。青空活歩さんの漫談では、芸能界の裏話や現代情勢などをテンポの良い巧みな話術で語りました。



10/30 置中1年カラマツ枝打ちを体験

置戸中学校1年生15人が、10月30日、町林業グループ主催で高性能林業機械（以下、ハーベスタ）の作業見学と枝打ちの林業体験を行いました。生徒たちは、立木の伐倒と枝払い、玉切りなどを1台でこなすハーベスタが、中里の町有林でカラマツを伐倒する様子を見学。その後、秋田の森林組合所有林で林業グループらとカラマツの枝払いを行い、森づくりの役割と大切さを学びました。



11/4 手道具で作る、木杓子づくり

今月25日まで開催される企画展「手デ見ル 手デ知ル 日本ノ道具」にちなんだワークショップが、11月4日、どま工房で開かれました。内容は、飛騨高山で生産されている「有道杓子」の作り方に習い、木杓子を作るというもの。参加者は、水に浸して扱いやすくしたホオノキの素材を鉋や小刀、彫刻刃を使って木杓子を作りました。この日は、町内の親子が参加しモノづくりを楽しみました。

